

# 第13回水稲病害虫発生予察結果

4月下旬～5月上旬田植えの早生品種(コシヒカリ・ひとめぼれ等)

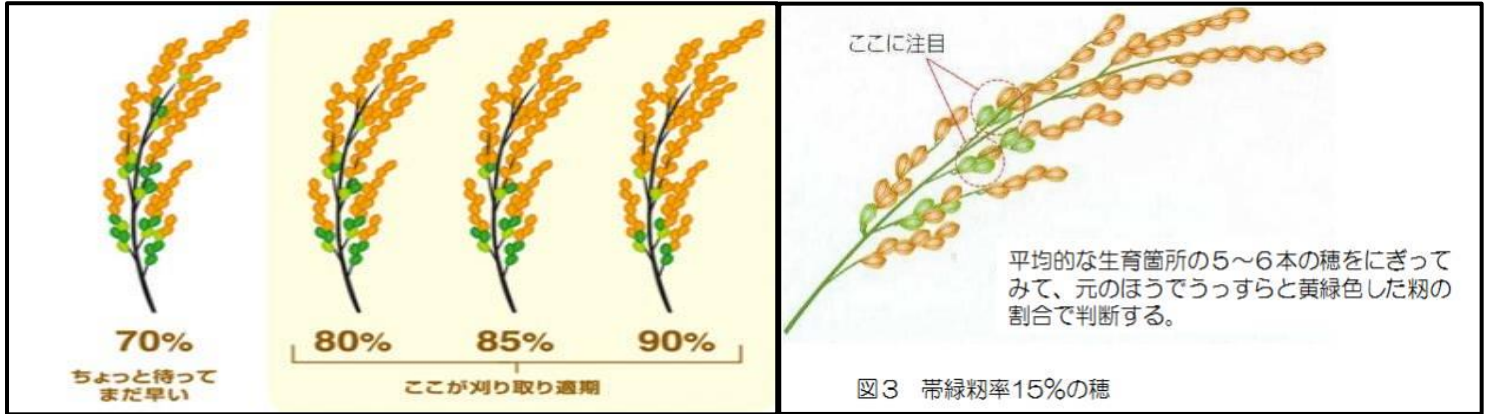
## 【稲の生育状況と栽培管理について】

各地区とも籾の登熟が進んでおり、収穫間近となっています。収穫適期は各地区・各圃場で違いますので下記の図を参考に収穫を行って下さい。

1つの穂の80～90%が黄色くなった頃が、その穂の刈取り適期となります。この刈取り適期の穂が田んぼの全体的に見えたら、収穫の適期です。

### 《刈取り適期の目安》

### 《籾の様子》



※収穫時期が早いと青米などの未熟米が多くなり、収穫時期が遅いと胴割米や着色米が多くなります。どちらも米の品質と食味を低下させるので、適期での収穫をお願いします。

5月中旬～下旬田植えの中晩生品種(きぬむすめ・あいちのかおり SBL)

## 【稲の生育状況・水管理について】

中生品種では乳熟期(籾を潰すと白い液がでる時期)となっています。晩生品種では出穂が始まったばかりとなっています。

水管理としては、水と酸素が必要になりますので間断灌水の水管理を行ってください。

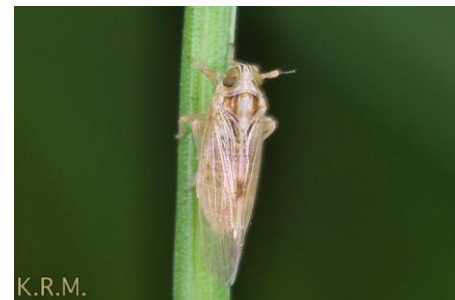
## 【病害虫について】

今回の調査では、カメムシ類、セジロウカ、ヨコバエ類が確認されました。どの害虫も稲への悪影響を及ぼしますので薬剤による防除を早めに行ってください。

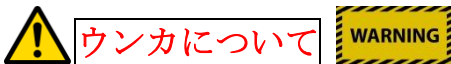
カメムシ類は出穂してから籾が硬くなるまでの間の防除が重要ですので、薬剤による防除をお願いします。カメムシ類の防除は穂揃期に1回、その7～10日後に2回目の防除を行うようにして下さい。

### 《カメムシ類・ウンカ類・ヨコバエ類の農薬》

| 薬剤名        | 使用時期    | 使用方法 | 使用量       | 使用回数 |
|------------|---------|------|-----------|------|
| スタークル粉剤 DL | 収穫7日前まで | 散布   | 3kg/10a   | 3回以内 |
| トレボン粉剤 DL  | 収穫7日前まで | 散布   | 3～4kg/10a | 3回以内 |



《セジロウカの成虫》



今回の調査では一部圃場でセジロウカが確認されました。圃場を見ていただき確認された場合は、薬剤(トレボン粉剤及びスタークル粉剤)による防除を行ってください。また、坪枯れを起こす「トビイロウンカ」は確認されませんでした~~が~~、注意はしてください。